

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (113), 課コード (0110), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for Heisei 30, Heisei 31, and Reiwa 2/3.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes a '評価コメント' section.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (119), 課コード (0110), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向. Includes a comment about user convenience and a direction for improvement.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (120), 課コード (0110), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 現状, 改善案及び展開方向. Includes a '評価コメント' section.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1808), 課コード (0110), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation details including current status (現状), expansion (拡充), and evaluation comments (評価コメント).

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	2087	課コード	0110	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)															
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	行政の情報化の総合的な推進		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	総務部・情報政策課						
		個別事業	社会保障・税番号制度の導入												
	③事業主体	●市 ○その他 ()													
	⑤事業期間	平成28年度 ~			⑥担当職員数	7人 (換算人数)		0.75人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	17,863千円 (うち人件費 6,600千円)		(変更後)	18,936千円 (うち人件費 6,600千円)					
⑧施策の位置づけ	施策コード	83204		重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	日々進歩している情報通信技術を活用しながら、システムや情報通信機器の計画的な導入や更新を進めるとともに、電子サービスの利用の拡大や職員の情報通信技術の活用能力の向上などに取り組み、市民サービスの向上や事務の効率化を図ります。また、サイバー攻撃や情報漏えいなどの脅威に対応するため、情報のセキュリティ対策の強化を図ります。			事業目的	社会保障・税番号制度において平成28年1月から個人番号の利用が開始されることとなっている。番号制度の運用開始にむけて、番号制度に対応したシステムの整備および機器を導入する。また、運用開始後は、システムの安定稼働を図る。									
(3) 事業内容	内容	・平成29年1月 国の機関における情報提供ネットワークシステムでの連携開始、マイポータルの運用開始 ・平成29年7月 地方公共団体における情報提供ネットワークシステムでの連携開始 スケジュールにあわせたシステムの整備や機器の導入 ・新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化 ・マイポータルを活用した子育て関連サービスの手続きに対応する電子申請システム関連の整備			当該年度執行計画	・平成31年4月 セキュリティクラウドを経由したインターネット通信 ・平成31年4月 子育てワンストップサービスを使用した各種業務の実施 ・平成31年11月 旧姓使用に対応するためのシステム改修									
		当該年度活動結果指標	旧姓使用に対応するためのシステム改修の進捗率		単位	%	想定値	100		実績値	100				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	情報提供ネットワークシステムへ接続し各種番号利用事務を実施する。				間接	番号制度に対応したシステムの整備		%	100	100					
令和2年度	番号制度に対応した全業務システムの整備				間接	番号制度に対応した全業務システムの整備		%		100					
令和3年度	番号制度に対応した全業務システムの整備				間接	番号制度に対応した全業務システムの整備		%		100					
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ○無									
(8) 施行事項	実施内容費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度							
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			中間サーバー利用負担金	2,580		中間サーバー利用負担金	6,744		6,744		中間サーバー利用負担金	7,090		中間サーバー利用負担金	7,090
			情報セキュリティクラウド回線費用	1,247		情報セキュリティクラウド回線費用	1,258		1,258		情報セキュリティクラウド回線費用	1,258		情報セキュリティクラウド回線費用	1,258
			情報セキュリティクラウド運用保守	3,001		情報セキュリティクラウド運用保守	3,030		3,030		情報セキュリティクラウド運用保守	3,030		情報セキュリティクラウド運用保守	3,030
	LGWAN-ASP利用料 (ウイルスパターン・WSUSはセキュリティ対策の実施へ事業統合)	0		子育てワンストップサービス電子申請システムLGWAN-ASP利用料	231		231		子育てワンストップサービス電子申請システムLGWAN-ASP利用料	231		子育てワンストップサービス電子申請システムLGWAN-ASP利用料	231		
	中間サーバー接続端末用ネットワーク設定変更	140													
	予算(決算)額	合計		合計		合計		合計		合計		合計			
		7,484		12,336		12,336		11,609		11,609		11,609			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	3,034	3,034	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源			7,484			9,302	9,302			11,609			11,609	
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.55		0.75		0.75		0.5		0.5		0.5			
	正職員人件費	4,840		6,600		6,600		4,400		4,400		4,400			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	12,324		18,936		18,936		16,009		16,009		16,009				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	123.24千円/%		189.36千円/%		189.36										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	社会保障・税番号制度において平成28年1月の番号利用開始、平成29年7月の情報連携開始が決定しており、運用開始に向けたシステムの整備や機器導入が必須であるため。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 法律に基づく事業であり、システム改修や機器の整備は必要不可欠である。				○要 ●不要		
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 市の責務であり、市以外に事業を実施できる者はいない。	○要 ●不要		
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)	●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	100	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 必要となるシステム改修や対応等は予定どおり完了した。				
					実績値(g)(千円)	18,936	対事業費(%)	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ●不要		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	18,936	対事業費(%)	100		○①想定事業費未満 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>						
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要		
	0.53	0.53	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	0.53	対目標値(%)	100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善案及び展開方向					
	事業の進捗に遅延はなく順調に進めることができた。									

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	2219	課コード	0110	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし		
1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	行政の情報化の総合的な推進			実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	総務部・情報政策課	
	③事業主体	個別事業	通信インフラの整備			④対象地区	■我孫子 ■天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市				
	⑤事業期間	平成31年度 ~			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.15人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円			当該(開始)年度	(当初)	7,316千円 (うち人件費 1,320千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	83204	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	日々進歩している情報通信技術を活用しながら、システムや情報通信機器の計画的な導入や更新を進めるとともに、電子サービスの利用の拡大や職員の情報通信技術の活用能力の向上などに取り組み、市民サービスの向上や事務の効率化を図ります。また、サイバー攻撃や情報漏えいなどの脅威に対応するため、情報のセキュリティを確保し、手賀沼公園にて公衆無線LANサービスを提供する。(H29年度整備)			事業目的	2020年のオリンピック・パラリンピック開催に向け、外国人を含む観光客等へのサービス向上・情報発信力の向上及び災害発生時のインターネット環境の提供・情報発信のために公衆無線LAN環境を整備する。					
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・天王台駅南口、手賀沼公園にて公衆無線LANサービスを提供する。(H29年度整備) ・我孫子駅南口、けやきプラザにて公衆無線LANサービスを提供する。 ・駅前、観光施設、防災拠点を中心に利活用を検討し優先順位の高いところから順次整備を進めていく。 ・接続時のリダイレクト機能を活用し、利用者への効果的な情報発信を行う。 			当該年度執行計画	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年10月~我孫子駅南口、けやきプラザにて公衆無線LANサービスを提供する。(けやきプラザは、1階と11階の箇所を整備) ・平成31年10月~周知、PRの実施 					
		当該年度活動結果指標	公衆無線LAN環境の整備数	単位	個所	想定値	5	実績値	5		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	市民が利用するインターネット環境の接続環境の向上			間接	公衆無線LANが整備された数	個所	2	5			
令和2年度	市民が利用するインターネット環境の接続環境の向上			間接	公衆無線LANが整備された数	個所		5			
令和3年度	市民が利用するインターネット環境の接続環境の向上			間接	公衆無線LANが整備された数	個所		5			
(7) 事業実施上の課題と対応	公衆電話設備が少ない場所では、工事費が増大するなど費用対効果に課題が生じる。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度			
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	
		フレット光ネクスト利用料	210	フレット光ネクスト利用料	141	141	フレット光ネクスト利用料	143	フレット光ネクスト利用料	143	
		公衆電話施設利用料	344	公衆電話施設利用料	224	224	公衆電話施設利用料	226	公衆電話施設利用料	226	
		プロバイダ利用料	39	プロバイダ利用料	26	26	プロバイダ利用料	26	プロバイダ利用料	26	
Wi-Fi認証クラウド運用・利用料	194	Wi-Fi認証クラウド運用・利用料	79	79	Wi-Fi認証クラウド運用・利用料	79	Wi-Fi認証クラウド運用・利用料	79			
フレット光ネクスト利用料		フレット光ネクスト利用料	67	41	フレット光ネクスト利用料	143	フレット光ネクスト利用料	143			
プロバイダ利用料		プロバイダ利用料	13	7	プロバイダ利用料	26	プロバイダ利用料	26			
Wi-Fi認証クラウド運用・利用料		Wi-Fi認証クラウド運用・利用料	44	44	Wi-Fi認証クラウド運用・利用料	79	Wi-Fi認証クラウド運用・利用料	79			
配線工事(けやきプラザ)		配線工事(けやきプラザ)	759	670	配線工事(けやきプラザ)		配線工事(けやきプラザ)				
配線工事(我孫子駅南口)		配線工事(我孫子駅南口)	402	395	配線工事(我孫子駅南口)		配線工事(我孫子駅南口)				
アクセスポイント2式(けやきプラザ)		アクセスポイント2式(けやきプラザ)	715	353	アクセスポイント2式(けやきプラザ)		アクセスポイント2式(けやきプラザ)				
アクセスポイント1式(我孫子駅南口)		アクセスポイント1式(我孫子駅南口)	358	224	アクセスポイント1式(我孫子駅南口)		アクセスポイント1式(我孫子駅南口)				
調査設計・環境構築費(けやきプラザ)		調査設計・環境構築費(けやきプラザ)	1,060	883	調査設計・環境構築費(けやきプラザ)		調査設計・環境構築費(けやきプラザ)				
調査設計・環境構築費(我孫子駅南口)		調査設計・環境構築費(我孫子駅南口)	2,108	1,320	調査設計・環境構築費(我孫子駅南口)		調査設計・環境構築費(我孫子駅南口)				
予算(決算)額	合計		787	合計		5,996	4,407	合計		722	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	3,179	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	0	0	充当率	0%	0	
	一般財源		787		2,817	4,407	722		722	722	
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0		0.15		0.15		0.1		0.1	
	正職員人件費	0		1,320		1,320		880		880	
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		0	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	787		7,316		5,727		1,602		1,602		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	262.33千円/個所		1,463.2千円/個所		1,145.4						
2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	外国人を含む観光客における公衆無線LAN環境のニーズは全国的に高く、市において本サービスを提供し情報発信力を向上することで来訪者の利便性向上、観光客誘致に一定の効果が見込めます。また、大規模災害時には被災者及び帰宅困難者向けの災害情報の発信も実施でき、更に輻輳(ふくそう)による電話回線の利用不可の場合でもメールの送受信が可能となるなど、平常時及び緊急時の両面において利活用が図れます。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要		
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> けやきプラザ1階・11階及び我孫子駅南口ロータリーへのサービス提供を新たに行うことで、既設の手賀沼公園及び天王台駅南口と合わせ、公衆無線LANの整備が図られた。市外からの来訪者の利便性が向上した。 □①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要		
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし		該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要		
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし		該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(個所)	目標値(b)(個所)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要		
	2	5	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(個所)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 予定していた箇所を整備した。		○要 ●不要		
	5	100			5	100					
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要		
	7,316	△6,529	<削減の内容>		5,727	78.28	<超過理由等> 当初は10月からのサービス開始予定であったが、建物の管理者との調整に時間を要し、12月からの開始となった。また、機器、工事や作業内容の見直しを行い費用の削減を行った。		○要 ●不要		
事業費削減率(%)	△829.61										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要		
	0.07	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 機器及び作業工程の見直しにより費用を削減したため費用対効果が向上した。		○要 ●不要		
		個所	10万円			0.09	128.57				
3. 事後評価											
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)											
評価	評価コメント				改善策及び展開方向						
	東京オリンピックに向けて外国人の観光客が増加が予想され、外国人を含む観光客の誘致のために必要なインフラ設備である。また、災害時の帰宅困難者対策や避難所における情報収集にも有効なインフラであり、観光と災害の両面から拡充の必要性を検討していく。										

事務事業評価表(平成31年度)

事業コード 2244 課コード 0110 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要(PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標(期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等

2. 事業の評価(DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
参加・協働の工夫
環境への配慮
(1) 目標設定は適切か?
(2) 事業費削減の工夫をしているか?
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント 令和2年度にはオープンデータを市HPで公開する。 改善策及び展開方向